

第388号/2024年4月19日

公団王子五丁目団地自治会

東京都北区王子5丁目2番
2号棟110室
(月-金)9~16時 (土)9~12時
電話・fax 03-3913-6723
Eメール: ougo@m3.dion.ne.jp
http://www.dion.ne.jp/ougo/

王子五丁目団地

自治会会報

物価高騰の今「収入に添じた家賃」・災害に強い団地へ

2024年度(第48期)に 自治会が取り組む課題(案)

新型コロナウイルスは5類に移行され、自治会の諸行事が復活し、外出や活動がもどりつつあります。昨夏は「地球沸騰化」と言われるくらい、温暖化がすすみました。1月には能登半島地震が起き、さらに災害に対する取り組み強化がもたらされます。非正規雇用が進み、高齢者には医療費の負担が増え、円安、資源高、戦争紛争等世界中が不安定のなか、光熱費、食料、日用品など物価高騰が家計の負担を重くしており、居住者の不安は増えています。

機構法25条4項の「家賃減免」の実施や修繕枠拡大をもとめて活動していきます。生活不安が続くなか、居住者が安心して住み続けられるように、高齢者が年金でも住み続けられる家賃をめざし、全国統一行動、国会議員や都・区議会への要請活動を継続していきます。公団住宅を「終の棲家(ついのすみか)」とするために「住宅セーフティネット」の一翼を担い、安心して住み続けられる公団住宅として位置づけるために国の住宅政策を変え、公団住宅として守る取り組みを強めながら、今期も、居住者の方々の協力を得ながら、活動をすすめていきます。

公共住宅を守り、よりよい住宅管理を要求し、安心して住み続けられる王子五丁目団地にするために

1、「UR賃貸住宅ストック活用・再生ビジネス」に対し、十分な話し合いの中ですすめるようはたらきかけます。
2013年12月の「閣議決定」にもとづき、入居開始が昭和40年団地はストック再生方針へと変更され、2033年までに建て替えや、削減、売却で35万戸の削減が計画されています。団地居住者の生活実態をふまえ、自治会や居住者との話し合いや、住まいの安定をはかりながらはたらきかけていきます。

2、家賃引き上げ幅拡大と改定周期短縮等の施策に反対する運動をすすめます。
①「継続家賃改定ルール」による改定が最短2年ごとの契約日更新の実施に対し、家賃見直しによる値上に反対し、収入に添じた家賃制度確立をもとめます。
②政府に対し、UR賃貸住宅を公共住宅として守ることをもつめ、UR都市機構(以下機構)に対して、賃貸住宅の売却・削減・整理縮小及び定期借家契約の導入に反対する運動をすすめます。
③現在適用されている家賃特別措置の継続をもつめ

3、首都直下型地震や水害などの災害にたいする取り組みをすすめます。
①首都直下型地震や水害への準備の充実をはかり、広域避難場所としての役割を確認し機構や関係機関との連携をはかります。
②自治会の自主的な防災組織のいっそうの充実を居住者とともに、防災意識を高めるため、防災訓練や防災学習会などとおしてすすめます。
③集合住宅での災害準備を提案し、居住者への周知をおこないます。
④防災倉庫や防災備品などの点検、充実をはかり

⑤機構と北区で締結している「大規模な水害における一時的な緊急避難に関する協定書」の見直しをするよう取り組んでいきます

4、修繕問題、共同購入に取り組めます

①機構に対し計画修繕の確な実施をもとめます。
②修繕項目の機構負担区分を居住者へ周知をはかり、さらなる修繕項目の前進をもとめます。
③灯油、襖共同購入など、会員世帯の要望を取り入れながら、各種共同購入をすすめます。

5、団地生活のモラル向上と居住環境をまもり、ルールの確立、防犯の活動に取り組めます

①団地内や地下鉄駅前の「不法」駐輪・放置自転車対策を機構と話し合い、居住者用自転車置き場の整備を推進します。
②ジャパニット利用者の駐輪自転車の整理等対策を機構やジャパニットにはたらきかけます。
③団地内の共用部分を大切にしよう呼びかけていきます。
④生活騒音への配慮や水漏れ事故防止を呼びかけるとともにペット問題を含む集合住宅の基本的なマナー確立をはたらきかけていきます。
⑤団地内における事故や落書きなどの犯罪防止を警察や機構などと協力してすすめます。
⑥生活するにあたり、日常的ルールを守るよう機構にはたらきかけます。
⑦各階共用部分への放置家具等に対し機構に対策をもとめます。

6、UR都市機構、URコミュニティ(株)JS日本総合住生活(株)との連携を促進させます

①団地管理業務の民間参入によるサービスタ下を招かないよう、適切な運営をもとめます。
②共益費について自治会と機構で十分協議をかさね、充実した運用をもとめます。
③緊急連絡員制度について、緊急時の利便性を機構と協力しながら向上させます。
④JS日本総合住生活(株)の修繕相談会の維持発展の協力をします

地域社会の確立とゆたかな団地づくりのために

1、王子給水場上部利用について防災拠点など公共用地としての活用をもとめます
2、高齢化問題での活動をすすめます
①居住者の高齢化がすすむなか、居住者相互の「たすけあいの会」もさらに発展させます。
②「生活支援アドバイザー」、地域包括支援センターとの連携をすすめます。
3、Eラウンジの有効的な活用をめざします。

ただし、感染症など十分に対策をたてながらおこないます。

自治協と機構との連携研究の成果である、自治会管理のEラウンジの運営を活発にすすめる「ふれあいサロン」、「俳句教室」、「映画会」の取り組みをおこないます。
王子光苑と協力し「健康麻雀」、「手芸教室」などを実施し、潤いのある生活をめざしていきます。

4、生活においてたのしい各種行事や取り組みをおこないます

①「第48回団地まつり」は7月27(土)・28日(日)の2日間開催を予定します。その他「フェスタ王五」、「クリスマス会」など居住者交流の各種行事はみなさんの要望をとりいれ、内容の充実や見直しをおこない実施していきます。
②「しらかば会(敬老会)」については、対象者の増加にともなう会場の問題もあり、検討をおこないながら開催します。また、小学校新入学児童・新成人へのお祝いを実施します。

5、地球環境保護、リサイクル活動を定着・発展させます

①排出ゴミの減量をめざす活動をすすめます。
②プラスチックごみ、「空きカン・ビン」ペットボトル、古紙のリサイクル体制を維持・発展させます。
③リサイクル活動に必要な環境・条件整備を機構や北区に働きかけます。
④地球環境保護については、機構や北区とともにすすめていきます。

6、北区と機構が連携した地域医療福祉拠点に対し自治会の役割を反映していきます

7、北区・公的機関の委託業務をおこない居住者とのパイプの役割を果たします。
8、涉外活動、関係団体との連携・協力をすすめます。

9、保育園・さくらだこども園・小中学校との連携をすすめます

10、自治会独自の、会員世帯にたいする水漏れお見舞い制度を引き続きおこないます。
11、北区王子町会連合会の構成団体として、「区民まつり」、「平和祈念事業」や青少年王子地区委員会の行事に積極的に参加します。

自治会活動の充実と発展

1、全ての居住者参加の自治会づくりをめざします

（1面からのつづき）

①会員は自治会活動の基礎であり、全居住者に入会の働きかけをひきつづきおこない、外国人居住者にも理解をもとめ入会のはたらきかけをおこないます。

②団地内すべての店舗に「賛助会員」参加のは

たらきかけをおこないます。

③団地内の変化に対応できる自治会にするための検討をすすめます。

④会報の発行やポスターの掲出、広報活動をより分かりやすく充実させすためインターネットやホームページ・Xも活用していきます

2023年度（第47期）自治会 が取り組んだ活動のまとめ

新型コロナウイルス感染症が5類に移行され、一抹の不安をかかえつつ自治会の行事が通常に近い形で動き出した年度でした。

「第13回団地の生活とすまいアンケート」が実施され、集約した結果王子五丁目団地でも高齢化と低所得が顕著になっていきました。度重なる物価の高騰などで家賃負担が大変重いと回答も多くあり、滞納することへの不安感が増し、民間や都営住宅への住み替えも難しく、住まいを失うことへの危機感を抱いている方が多くなっています。そのような中、住まいを守るため、住宅セフティネットのさらなる前進や修繕項目の改善など、全国公団住宅自治会協議会（全国自治協）や東京23区公団住宅自治会協議会（23区自治協）とともに、政府をはじめ、国会議員、地方議員、都市機構に対しさまざまな要請行動をおこなってきました。

2023年統一行動では毎年の積み重ねの重要性を再確認し、全国の公団居住者とともに実施する「全国統一行動」の署名・カンパ行動は、居住者のみなさんの協力をいただきながら取り組むことができました。安心して住み続けられる公共住宅をめざし、この一年を振り返り、運動や活動を課題別に報告します。

1、公団住宅を公共住宅として 守り、住みよい安全な王子五丁 目団地にするために

安心して住みつづけられる公団住宅をもとめる活動

（全国自治協）

- 4月27日 小倉將信初代「こども家庭省担当大臣」への表敬
- 5月31日 公明党UR住宅等の居住の安定等推進委員会
- 6月9日 自由民主党「公団住宅居住者を守る議員連盟」総会
- 6月18日 全国公団住宅自治会協議会定期総会
- 7月18日 国土交通省住宅局長と懇談
- 7月24日 国土交通省住宅局長と懇談
- 9月28日 国土交通省との意見交換会
- 11月17日 自由民主党「公団居住者を守る議員

連盟」総会

11月21日 立憲民主党「UR住宅居住者を支援する議員連盟」総会

11月27日 共産党国会議員団との懇談

11月30日 公明党UR住宅等居住の安定等推進委員会

12月6日 全国公団居住者総決起集会

2024年

1月22日 国会議員への要請行動

*UR本社との定例懇談会・連携研究会

在京（千葉・茨木、埼玉、多摩、神奈川・東京23区各自治協）幹事会

全国幹事会等年間数回の会議開催に出席

（23区自治協関係）

6月4日 23区自治会協議会「定期総会」

9月30日 統一行動に向け「団地代表者会議」

11月10日 共産党都議団との意見交換会

11月29日 地元国会議員への要請行動

2024年

2月17日 北ブロック北住まいセンターとの交渉

*UR都市機構連携研究会

各ブロック（北、南、城北・東）会議

幹事会等年間数回の会議に出席

2023年全国統一行動へのとりくみ

9月30日、統一行動の意義や公団住宅の現状をふまえ、各団地自治会役員の結果をはかるため、23区自治協主催の「団地代表者会議」がヌーベル赤羽台団地集会所で開催され興梠全国自治協事務局長を講師にむかえ、資料に添って説明を受け、借家人の権利と住み続けられる家賃制度を実現し、機構法25条4項のさらなる前進のためにも署名が大きな力となり政府を動かす原動力となることを学びました。

また、国土交通大臣宛・都市機構理事長宛の署名提出行動を続けることが重要であることが確認されました。

10月29日から署名用紙の全戸配布をおこない、第1回目の締め切りを11月12日（土）とし、署名未提出世帯向けに特別回収を11月23日（火・祝）屋外で居住者還元の一環であるトイレットペーパー無料交換日に合わせて個別回収をおこないました。

12月1日、日本教育会館で昨年より若干人数を広げた規模で「全国公団居住者総決起集会」が開催され全国の公団居住者の署名用紙とともに機構本社と国土交通大臣宛の署名の提出行動が実施されました。王子五丁目団地の署名総数は機構理事長宛551世帯880名・国土交通大臣宛552世帯880名。カンパ総額343,170円を居住者のみなさんから協力をえることができました。

「第13回団地の生活とすまい アンケート」

2023年9月に実施したアンケートは539世帯の回収戸数で回収率は24.3%でした。空家住戸や外国の世帯もあり少ない回収率ではありますが、集計結果は世帯主の年齢が70歳から75歳が66.8%で前回の2020年の60%より上昇し、世帯収入も年金だけが47.5%

%。家賃負担が大変重いと回答した世帯は51%ありそれでも住み続けたいと回答した世帯は79%になりました。早計に判断することはできませんが、今より安い家賃に住み替えたいが都営住宅に、応募しても倍率が高く、入ることが難しく、民間の賃貸住宅では高齢者を拒む傾向があることと、一番は住み慣れ、知り合いも増え、生活しやすい環境の王子五丁目団地に住みたいと考えておられる方が多いのではと推察できます。

北住まいセンター交渉

2023年11月、文章で北住まいセンターへ要望書の提出をおこないました。

①計画修繕②団地環境整備事業③駐車場・駐輪場・バイク問題④災害・大規模水害⑤共益費では残置物（家電等）の撤去費用の内訳⑥継続30年居住している世帯の畳・襖・クロス等の無料交換工事の進捗状況などの他高齢者等への安全手摺設置に関して現在の風呂場、トイレのほか玄関にも設置要望も出しました。

団地内工事（団地環境整備第一期）

道路および来客用駐車場の舗装打ち換え・植栽整備・汚水管整備他、屋外の工事が終了し、第二期の団地環境整備工事の説明会が4月16日に開催されました。

緊急連絡員受託と来客用駐車場運営

緊急連絡員委託業務では、祝祭日の集会所の鍵貸出し、引越越し時の車止めの鍵貸し出しや、夜間の水漏れ対応などの業務をおこないました。

自治会管理の来客用駐車場（4号棟裏の5台分）の貸出業務もおこないました。

自治会員特典のコインパーキングの割引チケットは販売終了となりチケットの使用不可となります。（手元にチケットがある場合は自治会事務所で払い戻しができます）

防災活動

10月31日、北区危機管理課の協力で水害対策としてマイタイムライン講習会を実施。11月15日、毎年実施されているURと災害用伝言ダイヤル、災害用伝言版を利用した緊急時通報訓練を実施。2024年2月18日、王子桜中学校で開催された「避難所立ち上げ訓練」に居住者と役員で参加しました。

2、地域社会の確立とゆたかな 団地づくり

リサイクル活動

リサイクル活動では、古紙・雑誌・古着・段ボールの分別回収（2023年度合計約109トン）、空きカン・ビンのステーション回収に引きつづき取り組みました。

区からの資源回収報奨金を資金とした居住者還元のための再生トイレットペーパーの全戸無料交換を、11月13日から11月22日の期間、自治会事務所で実施し、11月19日（日）署名の回収とともに特別交換もおこないました。再生紙使用のトイレットペーパーの通年販売もおこないました。2023年4月から実施されているプラスチック分別回収についても広報紙などで居住者への周知をおこないました

諸行事等の開催

「第47回団地まつり」をはじめ、「フェスタ王五」は感染対策をおこないながら実施することができました。

「新年会」は飲食を伴うため中止としました。「しらかげ会（旧敬老会）」は昨年につづきお祝いの会は中止としましたが、米寿・喜寿の方へお祝いとして北区共通商品券を届けました。会員世帯の新人・小学校新入学児童へのお祝いを実施しました。

環境リサイクル特別会計報告

自2023年4月1日～至2024年3月31日

Table with 4 columns: 収入, 支 出, 前 期 繰 越 金, 合 計. Rows include 業者等費用, 通信費, 現金売用トイレットペーパー仕入, etc.

記念事業特別会計報告

自2023年4月1日～至2024年3月31日

Table with 4 columns: 収入, 支 出, 前 期 繰 越 金, 合 計. Rows include 前期繰越金, 積立金, 受取利息, etc.

第47回団地まつり会計報告

2023年3月31日

Table with 4 columns: 収入, 支 出, 前年度より繰越金, 合 計. Rows include 電気関係費用, 記念タオル代, 行集会所使用料, etc.

家賃問題特別会計報告

自2023年4月1日～至2024年3月31日

Table with 4 columns: 収入, 支 出, 前 期 繰 越 金, 合 計. Rows include 活動費, リーフ・ハソフレット代, カンパ自治協納付金, etc.

灯油共同購入特別会計報告

自2023年4月1日～至2024年3月31日

Table with 4 columns: 収入, 支 出, 前 期 繰 越 金, 合 計. Rows include 2022年度払戻金, 2022年度灯油代金, 2023年度灯油代金, etc.

区事務委託料特別会計報告

自2023年4月1日～至2024年3月31日

Table with 4 columns: 収入, 支 出, 前 期 繰 越 金, 合 計. Rows include 一般会計へ繰り入れ, 次年度への繰越金, etc.

来客用駐車場特別会計報告

自2023年4月1日～至2024年3月31日

Table with 4 columns: 収入, 支 出, 前 期 繰 越 金, 合 計. Rows include 一般会計へ繰り入れ, プリハト払い戻し, 消耗品費, etc.

緊急連絡員特別会計報告

自2023年4月1日～至2024年3月31日

Table with 4 columns: 収入, 支 出, 前 期 繰 越 金, 合 計. Rows include 一般会計へ繰り入れ, 通信費, 次年度への繰越金, etc.

合同貸借対照表

2024年3月31日

Table with 4 columns: 資産の部, 金額, 繰越金, 金額. Rows include 現金, 普通預金, 定期預金, etc.

[注1] 事務所確立積立金は、今後の自治会活動強化や災害対策のため積立しているものです。

(2面からのつづき)

王子町会自治会連合会の活動

王子町会自治会連合会の一員として、青少年王子地区委員会の行事、「おたのしみ会」、「家族ふれあいボウリング大会」、「ラジオ体操会」、「ポッチャ大会」が開催され、王子東児童館主催の「こんこんまつり」等に推進委員が参加しました。

3、団地生活になくってはならない自治会活動

都市機構との連携・Eラウンジの活用 (高齢者への取り組み・福祉活動) 都市機構と自治協との連携研究の一環として、管理・運営を委託されたEラウンジでは、団地内の高齢者や、近隣高齢者にむけて、王子光照苑高齢者あんしんセンターの出張相談窓口(毎週月曜日の午前9時30分～午後4時)が開設されました。

毎月第2火曜日開催の「俳句教室」、(俳句教室には講師謝礼のため一部自治会より10,000円を補助)。第3月曜日は「麻雀教室」(参加無料)を王子光照苑と協力しながら団地内外からの参加希望者を受け入れて開催しました。生活支援アドバイザー、民生委員、高齢者安心センターと連携をとりながら、高齢者への見守りや手助けをおこないました。家賃減額措置の添付書類の住民票や課税証明など代行業務をおこないました。高齢者あんしんセンターから「おたががいさまネットワーク協力員」に2名が委託され一人暮らしのお年寄りを見守る活動をおこないました。自治会で購入した2台の車イスも、買い物や病院への通院、入退院時の送迎に年間をとおして201回の利用があり、また、地域の中継拠点として、車イスユーザーのシオン事業として、車イスの近隣住民への貸し出しもおこないました。

「たすけあい活動」

自治会が立ち上げた日常的な困りごとの手助けをおこなう、居住者相互による「たすけあいの会」

は、病院への送り迎えや、家具の移動、買い物、認知症の方の見守り、寝たきりの方への見守りや水分補給の介助、粗大ゴミ出し転居のための手助けなど、234件の依頼があり、活動会員(ボランティア)の協力をえて対応をおこないました。

行政や公的機関とのパイプ役

自治会は行政・公的機関の窓口として、さまざまな受託事務や広報活動のほか、団地居住者と行政のパイプ役として、また、地域のコミュニティ組織としての大きな役割を果たしています。

広報活動・役員会など

自治会活動などの情報を迅速に伝えるため、ホームページやxの活用もすすめ、ポスター掲示や会報発行などにつとめてきました。また自治会は、専門部体制の強化等を実施してきましたが、今期も役員が定数に満たない中、役員会の開催や専門部の会議等も開き、会員世帯に協力をもとめつつ活動してきました。居住者が利用しやすいよう土曜日の午前中自治会事務所開設もおこないました。

共同購入

灯油共同輸入を実施しました。

J S 日本総合住生活(株)との連携

フェスタ王五の会場も含め3回の修繕相談会が実施されました。

公団自治協や町会自治会連合会での活動

他の公団団地自治会と連携をはかるために、23区自治協や全国自治協へ、会長、副会長を派遣の構成自治会としても力を発揮してきました。地元の王子町会自治会連合会や北区の明るい選挙推進委員、民生委員児童委員、青少年王子地区委員会など地域の関係する組織に代表を派遣するなど、地域でも重要な活動をおこなってきました。

2024年度予算案

2023年度決算報告書

収入の部

自 2024年4月1日
至 2025年3月31日

科目	予算額	2023年度実績
会費等収入	5,120,000	3,255,000
会費収入	5,000,000	3,179,000
入会金収入	20,000	4,000
賛助会費	100,000	72,000
区助成金等	400,000	411,185
区事務委託料特別会計繰入	2,400,000	2,400,000
緊急連絡員特別会計繰入	350,000	350,000
来客用駐車場特別会計繰入	150,000	150,000
環境リサイクル特別会計繰入	100,000	100,000
雑収入	100,000	185,092
前年度繰越金	1,206,729	827,261
合計	9,826,729	7,678,545

支出の部

自治会活動費	1,050,000	424,688
活動費	400,000	239,611
通信費	100,000	69,369
交通費	150,000	0
慶弔費	300,000	90,000
会議費	100,000	25,708
広報費	400,000	103,563
行事費	1,000,000	417,508
事務局活動費	4,150,000	3,654,117
事務局員活動費	3,750,000	3,279,500
配布料	400,000	374,617
運営費	1,200,000	1,041,940
事務所経費	350,000	316,800
消耗品費	300,000	302,148
備品購入費	100,000	54,832
備品リース費	450,000	368,160
分担金	611,000	584,000
公団自治協	480,000	480,000
連合町会	50,000	23,000
防火協会	25,000	25,000
防犯協会	45,000	45,000
清掃協力会	11,000	11,000
記念事業特別会計引当金		0
慰労金積立引当金	246,000	246,000
予備費	1,169,729	
次年度繰越金		996,722
合計	9,826,729	7,468,538

収入の部

自 2023年4月1日
至 2024年3月31日

科目	予算額	決算額
会費等収入	5,120,000	3,255,000
会費収入	5,000,000	3,179,000
入会金収入	20,000	4,000
賛助会費	100,000	72,000
区助成金等	400,000	411,185
区事務委託料特別会計繰入	2,400,000	2,400,000
緊急連絡員特別会計繰入	350,000	350,000
来客用駐車場特別会計繰入	150,000	150,000
環境リサイクル特別会計繰入	100,000	100,000
雑収入	100,000	185,092
前年度繰越金	827,261	827,261
合計	9,447,261	7,678,545

支出の部

自治会活動費	1,050,000	424,688
活動費	400,000	239,611
通信費	100,000	69,369
交通費	150,000	0
慶弔費	300,000	90,000
会議費	100,000	25,708
広報費	400,000	103,563
行事費	1,000,000	417,508
事務局活動費	4,150,000	3,654,117
事務局員活動費	3,750,000	3,279,500
配布料	400,000	374,617
運営費	1,200,000	1,041,940
事務所経費	350,000	316,800
消耗品費	300,000	302,148
備品購入費	100,000	54,832
備品リース費	450,000	368,160
分担金	611,000	584,000
公団自治協	480,000	480,000
連合町会	50,000	23,000
防火協会	25,000	25,000
防犯協会	45,000	45,000
清掃協力会	11,000	11,000
記念事業特別会計引当金		0
慰労金積立引当金	246,000	246,000
予備費	790,261	0
次年度繰越金		1,206,729
合計	9,447,261	7,678,545

ふれあいサロン会計報告

自 2023年4月1日
至 2024年3月31日

収入		支出	
前期繰越金	189,461	活動費	0
売り上げ	0	仕入れ	0
受取利息	8	消耗品費	0
		次年度への繰越金	189,469
合計	189,469	合計	189,469

助け合いの会会計報告

自 2023年4月1日
至 2024年3月31日

収入		支出	
前期繰越金	407,688	活動費	259,900
入会金	13,000	事務手数料	34,100
チケット売り上げ	189,500	保険料	4,900
受取利息	12	次年度への繰越金	311,300
合計	610,200	合計	610,200

きりとせん

☆円滑な団地生活のためにも、未入会世帯はぜひともご入会ください。下の入会申込書に記入のうえ、自治会事務所にご持参いただくか、事務所のポストへ投函してください。ファックス、e-mailでもどうぞ。

公団王子五丁目団地 自治会入会申込書

公団王子五丁目団地自治会に入会を申し込みます。

号棟 号室 (TEL)

ふりがな
世帯主お名前

年 月 日 公団王子五丁目団地自治会御中

【事務所】王子五丁目団地(2号棟)110号室
【Tel & Fax】3913-6723 【mail】ougo@m3.dion.ne.jp

◇会費は月500円です

会費をいただく方法
どれかに○をお願いします

- ◇金融機関自動振替
- ・城北信用金庫東十条支店
- ・第一勧業信用組合東十条支店
- ・ゆうちょ銀行
- ◇ゆうちょ銀行払込
- ◇集金
- ◇事務所へ直接持参

会計監査報告書

公団王子五丁目団地自治会の2023年度会計監査を4月2日午前、自治会事務所で実施しました。

貸借対照表および決算書の正確性、資産の監理状況、業務処理状況について詳細に監査したところ、いずれも的確に処理されていることを確認しました。

- 照合資料
1. 金銭出納帳および預金通帳
 2. 収支伝票および付属資料
 3. 科目別勘定台帳
 4. 会費納入台帳

2024年4月2日

会計監査委員 石原 妙子(印)
岩崎 佳奈恵(印)